



特別勘定（世界バランス型30AF）

四半期運用実績レポート

2012年4月～2012年6月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年4月~2012年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2012年4月~2012年6月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、ギリシャ情勢の混迷に加え、スペインの金融不安も高まったことなどから、リスク回避の動きが強まり大幅に下落しましたが、その後は欧州問題の打開策や世界的な追加金融緩和策への期待から、下落幅を縮める展開となりました。

4月は、スペインやイタリアの財政再建の遅れに対する警戒感からリスク回避が強まり下落しました。5月には、ギリシャの政局混迷やスペインの銀行の不良債権問題などで欧州問題への警戒感が強まり、下落幅が広がりました。米国の雇用の伸びの鈍化や、為替の円高・ユーロ安も重石となりました。6月に入ると、ギリシャのユーロ離脱の可能性が低下し、欧州安定メカニズム(ESM)による金融機関への直接資本注入が合意されたことや、世界的な追加金融緩和策への期待感から上昇に転じました。

業種別では、前四半期の上昇が小さかった「情報・通信業」(前四半期比▲0.77%)の下落率が最小となった一方、3月期決算で大手3社が赤字となるなど業績不振が目立った「鉄鋼」(前四半期比▲21.67%)の下落率が最大となりました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、期初から6月初めまで下げ基調で推移した後、期末にかけて反発する動きとなりました。米国株式市場は4月5月共に月初にISM製造業景況指数が予想以上だったことからプラスで始まりましたが、雇用統計への失望や欧州債務問題の悪化(ギリシャの連立政権樹立の失敗、スペインの不良債権問題等)を受けて両月共に下落基調となりました。6月初めに大幅に下落した後は中国の利下げやギリシャでの財政再建派の政権樹立などを受けて徐々に上昇し、当期末にはスペインの銀行への支援策や大規模な成長促進策を打ち出した欧州連合(EU)首脳会議を受け急反発して終えました。一方、欧州株式市場はスペイン、イタリア市場が下げを先導し共に期初から6月初めまでに2割以上下落し、ドイツ市場も世界経済の軟調さを反映して米国市場よりも下落が大きくなりました。しかしその後は、金融緩和期待やギリシャの再選挙結果などにより欧州市場も上昇基調になりました。アジア株式市場は4月に豪州や中国の利下げへの思惑が台頭したことから、5月初めまでは堅調に推移していましたが、その後は他地域の市場と同様に6月初めまで下落した後、当期末にかけて上昇しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、前半、日銀短観の大企業製造業・業況判断指数や鉱工業生産が事前予想を下回るなど軟調な経済指標の発表を背景に債券が買われました。また4月末、日本銀行による資産買入等の基金の規模を増額し追加金融緩和策を決定したことも日本国債の買い材料となりました。ただし、期中下旬以降は利回りが低位で推移していたことから積極的な買い基調には至らず、もみ合いの展開となりました。日本10年国債利回りは前期末から▲0.152%低下の0.837%となりました。無担保コール翌日物は前期末と同水準の0.076%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、第1四半期GDPの低下や雇用環境の鈍化など軟調な国内経済指標が債券の買い材料となり、6月上旬には米国10年債利回りが1.50%を下回り、過去最低水準に達しました。また、米連邦準備制度理事会(FRB)は期を通じて政策金利を据え置きました。米国10年債利回りは前期末から▲0.564%低下の1.645%となりました。

欧州債券市場では、イタリアの財政懸念や欧米格付け会社によるスペイン国債の格下げなど、欧州債務問題の深刻化を背景に相対的に安全と見られる独債が買われました。独10年債利回りは一時1.20%を下回り過去最低水準に達しました。欧州中央銀行(ECB)は政策金利を据え置きとしました。英国市場は、欧州債務問題を背景に英国債が買われる展開となりました。イングランド銀行(BOE)は政策金利を据え置きましたが、期間6か月の銀行向け流動性供給の実施を6月に表明しました。独10年債利回りは前期末から▲0.211%低下の1.583%、英10年債利回りは▲0.470%低下の1.734%となりました。

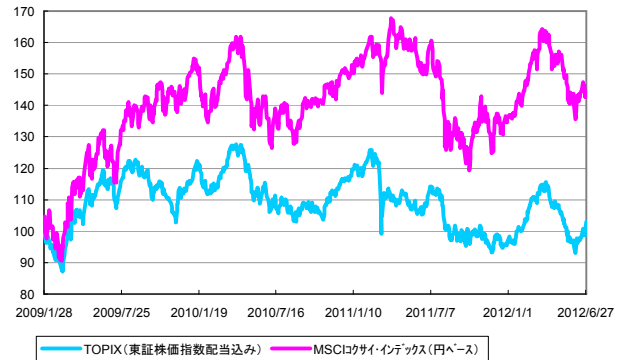
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前半、第1四半期GDPの低下や雇用統計の弱含みなど軟調な米経済指標が相次いだことから米ドルが対円で売られる展開となりました。円は対米ドルで前期末から2円88銭(3.50%)円高ドル安の1ドル=79円31銭となりました。

ユーロ/円相場は、イタリアの財政懸念や欧米格付け会社によるスペイン国債の格下げ、ギリシャのユーロ離脱懸念など、欧州債務問題の深刻化を背景にユーロが対円主要通貨で売られる展開となりました。円は対ユーロで前期末から11円06銭(10.07%)円高ユーロ安の1ユーロ=98円74銭となりました。

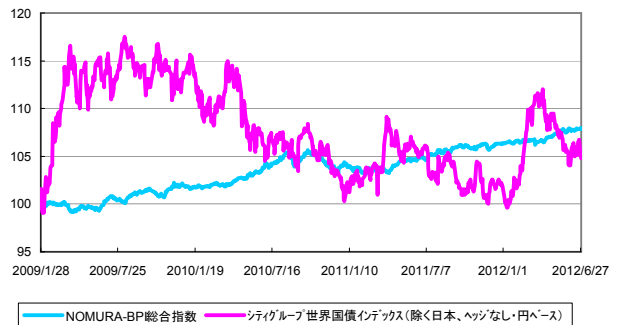
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

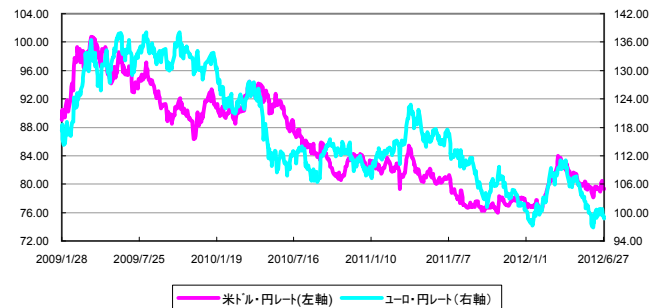
*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)

出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移




出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

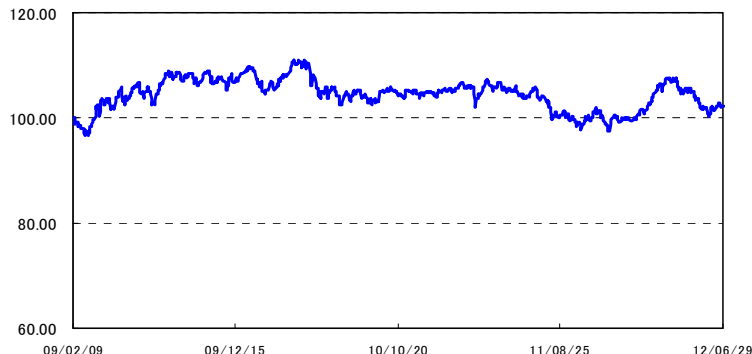
特別勘定の四半期運用実績レポート (2012年4月～2012年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2012年6月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) * * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)		
2012年6月末	102.19	過去1ヶ月	1.00%
2012年5月末	101.18	過去3ヶ月	▲ 4.42%
2012年4月末	105.62	過去6ヶ月	2.19%
2012年3月末	106.92	過去1年	▲ 2.56%
2012年2月末	106.13	過去3年	▲ 3.49%
2012年1月末	101.00	設定来	2.19%

・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	653,929	99.6%
現預金・その他	2,689	0.4%
合計	656,618	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

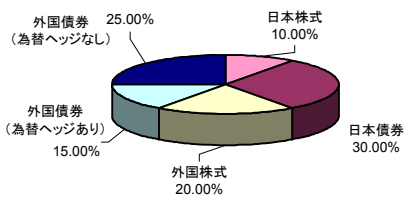
特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年4月~2012年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2012年6月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



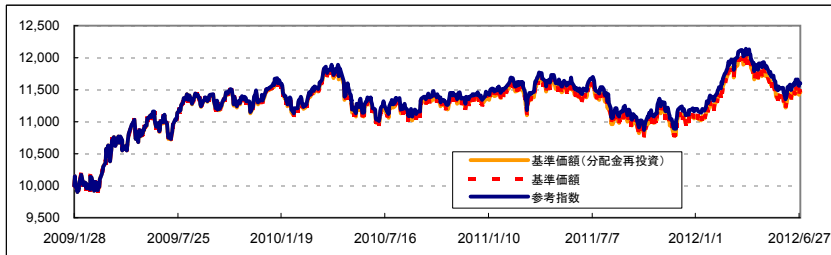
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*
 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.315%程度(税抜0.30%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2012年6月29日	前月末	前月末比
基準価額	11,458 円	11,323 円	135 円
純資産総額(百万円)	654	648	6

	基準価額	日付
設定来高値	12,007 円	2012年3月28日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.16%
日本債券	30.00%	30.29%
外国株式	20.00%	19.81%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.97%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	24.73%
短期金融資産	0.00%	0.04%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.19%	▲3.88%	3.38%	▲0.30%	3.42%	14.57%
参考指数	1.24%	▲3.76%	3.57%	0.09%	4.60%	15.97%
差	▲0.05%	▲0.12%	▲0.19%	▲0.39%	▲1.18%	▲1.40%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	40.45%
アメリカ	28.66%
イギリス	5.24%
フランス	4.55%
ドイツ	4.29%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	55.42%
米ドル	22.13%
ユーロ	11.90%
ポンド	4.04%
加ドル	1.76%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2012年4月~2012年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

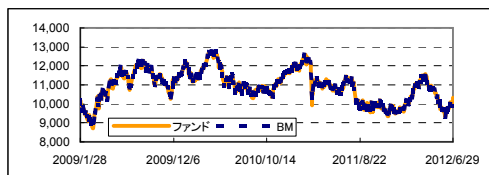
各マザーファンドの運用状況 [2012年6月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM)：TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額： 103,643 百万円



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	7.11%	▲9.76%	6.98%	▲7.13%	▲11.73%	3.17%
ベンチマーク	7.17%	▲9.74%	7.01%	▲7.14%	▲11.83%	3.09%
差	▲0.06%	▲0.02%	▲0.03%	0.01%	0.10%	0.09%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数： 1,671 銘柄

銘柄	業種	ファンド	BM
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.86%	3.94%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.63%	2.69%
3 本田技研工業	輸送用機器	2.16%	2.21%
4 キヤノン	電気機器	1.83%	1.87%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.83%	1.86%
6 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.59%	1.62%
7 日本電信電話	情報・通信業	1.57%	1.60%
8 武田薬品工業	医薬品	1.32%	1.35%
9 ファナック	電気機器	1.26%	1.28%
10 ソフトバンク	情報・通信業	1.23%	1.26%
合計		19.29%	19.67%

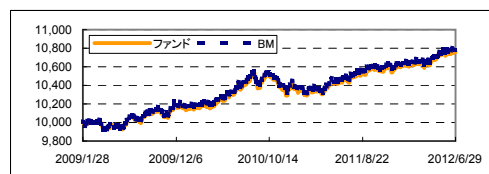
組入上位10業種

業種	ファンド	BM	差
1 電気機器	12.60%	12.86%	▲0.26%
2 輸送用機器	10.35%	10.55%	▲0.20%
3 銀行業	9.64%	9.82%	▲0.19%
4 情報・通信業	6.56%	6.68%	▲0.13%
5 化学	5.67%	5.78%	▲0.11%
6 卸売業	5.43%	5.54%	▲0.11%
7 医薬品	5.09%	5.19%	▲0.10%
8 機械	4.83%	4.93%	▲0.10%
9 小売業	4.28%	4.36%	▲0.08%
10 陸運業	4.05%	4.13%	▲0.08%
合計	68.50%	69.85%	▲1.35%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM)：NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額： 180,383 百万円



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	▲0.04%	1.05%	1.40%	2.88%	7.16%	7.55%
ベンチマーク	▲0.02%	1.05%	1.41%	2.90%	7.37%	7.86%
差	▲0.02%	0.00%	▲0.00%	▲0.02%	▲0.21%	▲0.30%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数： 903 銘柄

銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1 第102回利付国債	0.300%	2016年12月20日	1.23%	0.73%
2 第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.15%	0.52%
3 第320回利付国債	1.000%	2021年12月20日	1.13%	0.69%
4 第99回利付国債	0.400%	2016年9月20日	1.12%	0.68%
5 第319回利付国債	1.100%	2021年12月20日	1.03%	0.34%
6 第267回利付国債	1.300%	2014年12月20日	1.03%	0.26%
7 第302回利付国債	1.400%	2019年6月20日	1.01%	0.32%
8 第100回利付国債	0.300%	2016年9月20日	0.95%	0.37%
9 第310回利付国債	1.000%	2020年9月20日	0.92%	0.65%
10 第311回利付国債	0.800%	2020年9月20日	0.90%	0.35%
合計			10.46%	4.91%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

債券種別	ファンド	BM	差
国債	77.66%	76.82%	0.84%
地方債	6.79%	7.37%	▲0.58%
政府保証債	4.34%	4.22%	0.12%
金融債	1.19%	1.27%	▲0.09%
事業債	8.67%	8.23%	0.44%
円建外債	0.28%	0.71%	▲0.44%
MBS債	1.00%	1.37%	▲0.37%
コール・その他	0.07%	0.00%	0.07%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.65%	0.65%	▲0.00%
平均クーポン	1.47%	1.43%	0.04%
平均残存期間	8.20	8.06	0.14
修正デフレーション	7.21	7.17	0.04

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デフレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2012年4月～2012年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2012年6月末日現在]

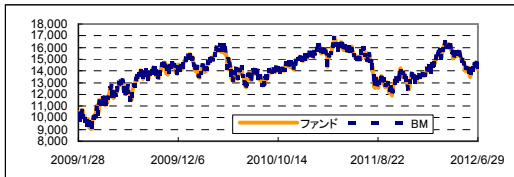
※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイインデックス(円ベース)

純資産総額: 129,872 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	2.26%	▲10.43%	5.49%	▲7.72%	13.12%	42.60%
ベンチマーク	2.21%	▲10.38%	5.63%	▲7.62%	13.43%	43.32%
差	0.04%	▲0.05%	▲0.14%	▲0.11%	▲0.31%	▲0.72%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,317 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.46%	2.55%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.82%	1.88%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.05%	1.08%
4	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.99%	1.03%
5	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98%	1.01%
6	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.97%	1.01%
7	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.95%	0.98%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.92%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.85%	0.88%
10	PFIZER	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.79%	0.82%
合計				11.76%	12.16%

・ベンチマーク (BM) の比率は2012年6月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	11.01%	11.42%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.01%	8.29%
3	食品・飲料・タバコ	7.12%	7.37%
4	資本財	7.01%	7.26%
5	銀行	7.00%	7.26%
6	素材	6.45%	6.69%
7	ソフトウェア・サービス	6.00%	6.21%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.69%	4.85%
9	各種金融	4.25%	4.39%
10	電気通信サービス	4.07%	4.21%
合計		65.60%	67.95%

組入上位10カ国

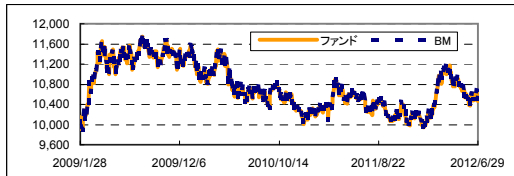
順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	57.91%	59.99%
2	イギリス	10.13%	10.46%
3	カナダ	5.14%	5.36%
4	フランス	3.83%	3.97%
5	オーストラリア	3.77%	3.90%
6	スイス	3.66%	3.80%
7	ドイツ	3.34%	3.47%
8	スウェーデン	1.31%	1.36%
9	香港	1.30%	1.35%
10	スペイン	1.12%	1.16%
合計		91.51%	94.82%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

純資産総額: 229,160 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	0.60%	▲5.22%	2.90%	▲0.91%	▲9.17%	4.59%
ベンチマーク	0.59%	▲5.21%	2.86%	▲0.93%	▲8.97%	4.81%
差	0.01%	▲0.01%	0.04%	0.02%	▲0.21%	▲0.22%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 458 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	1.10%	0.24%
2	アメリカ国債	米ドル	0.375%	2013年6月30日	0.93%	0.27%
3	アメリカ国債	米ドル	1.500%	2013年12月31日	0.87%	0.22%
4	アメリカ国債	米ドル	0.125%	2013年9月30日	0.79%	0.27%
5	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年8月15日	0.77%	0.25%
6	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2014年7月15日	0.72%	0.24%
7	アメリカ国債	米ドル	4.375%	2039年11月15日	0.71%	0.33%
8	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2015年8月15日	0.71%	0.21%
9	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.70%	0.17%
10	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2039年5月15日	0.68%	0.24%
合計					7.98%	2.43%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ベンチマーク (BM) の比率は2012年6月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	43.29%	43.42%
2	フランス	9.55%	9.56%
3	ドイツ	9.13%	9.14%
4	イタリア	8.45%	8.42%
5	イギリス	8.15%	8.14%
6	スペイン	3.89%	3.89%
7	カナダ	3.00%	2.98%
8	オランダ	2.69%	2.69%
9	ベルギー	2.53%	2.52%
10	オーストリア	1.75%	1.74%
合計		92.43%	92.52%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.88%	1.87%	0.01%
平均クーポン	3.79%	3.31%	0.48%
平均残存期間	7.85	7.77	0.07
修正デュレーション	6.19	6.19	0.01

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・上記の属性は2012年6月28日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D 2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

- 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 ※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売していません。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>